

平成 25 年 9 月 4 日
独立行政法人中小企業基盤整備機構

中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び中小企業支援担当者向け研修に係る業務の実施状況について（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日時点分）

I 事業の概要等

1. 委託業務内容

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）が設置する中小企業大学校（以下「大学校」という。）における、企画及び募集を除いた各校の企業向け経営管理者研修、経営後継者研修及び工場管理者研修並びに中小企業支援担当者向け研修に係る業務。

2. 事業実施経緯

民間競争入札により別に民間委託している「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務」の実施状況を踏まえ、委託契約の対象範囲を拡大した。

また、第二期中期目標期間の最終年度末が平成 26 年 3 月末であることから単年度契約とした。

3. 事業実施期間

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日（1 年）

4. 受託した民間事業者

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 旭川校：受託者 | 株式会社東京リーガルマインド |
| (2) 仙台校：受託者 | TAC株式会社 |
| (3) 三条校：受託者 | NSGひめさゆり共同事業体 |
| 受託者代表 | 学校法人新潟総合学院 |
| 構成員 | 愛宕商事株式会社 |
| 構成員 | 新潟県ビル管理協同組合 |
| 構成員 | 株式会社サン・ミール |
| (4) 東京校：受託者 | 一般社団法人日本能率協会 |
| (5) 瀬戸校：受託者 | 一般社団法人中部産業連盟 |
| (6) 関西校：受託者 | 株式会社東京リーガルマインド |
| (7) 広島校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |
| (8) 直方校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |
| (9) 人吉校：受託者 | 麻生教育サービス株式会社 |

II 確保すべき質の達成状況及び評価

事業の実施に当たり確保されるべきサービスの質を確保するための要求水準指標は、以下のとおりである。

【要求水準】

- ① 受講者の満足度、②講師の満足度、③作業遅延の件数、④研修の中断回数

なお、それぞれの要求水準指標につき、機構が設定した「要求水準値」を設けている。また、中小企業大学校における企業向け経営管理者研修等及び中小企業支援担当者向け研修に係る業務民間競争入札実施要項（以下、「実施要項」という。）に基づき、「研修の中断回数」における要求水準値の達成状況について、要求水準値に満たないこととなった場合に機構が民間事業者へ支払う委託費を減額することができる。要求水準値の達成状況は以下のとおりである。

1. 実施状況

(1) 受講者の満足度

研修の受講者に対して行うアンケート調査の研修運営のサービス全体に対する満足度の実績値（経過値）は、三条校を除いて要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (4～6月)	達成率 (対要求水準値)	アンケート 実施回数 (4～6月)	アンケート 回収率 (4～6月)
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	93.3%
三条校	90.0%	88.2%	98.0%	1回	100.0%
東京校	90.0%	91.0%	101.1%	14回	88.7%
瀬戸校	90.0%	96.4%	107.1%	4回	94.8%
関西校	90.0%	90.2%	100.2%	4回	98.0%
広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	91.7%	101.9%	1回	100.0%

(2) 講師の満足度

研修の講師に対して行うアンケート調査の研修運営担当者に対する満足度の実績値（経過値）は、すべての大学校で要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (4～6月)	達成率 (対要求水準値)	アンケート 実施回数 (4～6月)	アンケート 回収率 (4～6月)
旭川校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
仙台校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
三条校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
東京校	90.0%	94.4%	104.9%	14回	96.9%
瀬戸校	90.0%	90.5%	100.6%	4回	100.0%
関西校	90.0%	90.3%	100.3%	4回	100.0%
広島校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
直方校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%
人吉校	90.0%	100.0%	111.1%	1回	100.0%

(3) 作業遅延の件数

機構又は講師が示す所定の期日までに、完了しない作業の件数（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）。対象となる作業は、次のとおりとする。

1. 講師承諾書又は承認書の回収
2. 研修教材、参考図書納品
3. 大学校施設外で実施する講義又は実習の会場確保
4. 受講者への受講決定通知及び受講連絡文書の送付
5. 研修会場の設営（机の配置、教材等の配布、研修資材の準備）
6. 講師の旅費、謝金等の支払準備

業務全般に係る対象期間の実績値（経過値）は下表のとおりであり、要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (6月まで)	達成/未達成
旭川校	0件	0件	達成
仙台校	0件	0件	達成
三条校	0件	0件	達成
東京校	0件	0件	達成
瀬戸校	0件	0件	達成
関西校	0件	0件	達成
広島校	0件	0件	達成
直方校	0件	0件	達成
人吉校	0件	0件	達成

(4) 研修の中断回数

研修業務の不備（民間事業者の責めに帰さない事由によるものを除く。）に起因する研修の中断回数。研修の中断とは、研修が一時的に実施されないことにより、研修の所期の目的が達成できなくなった場合をいう。

業務全般に係る調査対象期間の実績値（経過値）は下表のとおりであり、要求水準値を達成している。

	要求水準値	実績値 (6月まで)	達成/未達成
旭川校	0回	0回	達成
仙台校	0回	0回	達成
三条校	0回	0回	達成
東京校	0回	0回	達成
瀬戸校	0回	0回	達成
関西校	0回	0回	達成
広島校	0回	0回	達成
直方校	0回	0回	達成
人吉校	0回	0回	達成

2. 研修回数の実績

平成 25 年度に実施する研修回数及び調査対象期間（4～6 月）に開講した研修回数実績は以下のとおりである。

	研修課程	研修回数実績 (4～6月)	年間予定回数	進捗率 (対年間予定回数)
旭川校	中小企業向け	0回	1回	0.0%
	支援担当者向け	1回	12回	8.3%
仙台校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	7回	14.3%
三条校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	2回	50.0%
東京校	中小企業向け	3回	5回	60.0%
	支援担当者向け	6回	46回	13.0%
瀬戸校	中小企業向け	2回	2回	100.0%
	支援担当者向け	1回	4回	25.0%
関西校	中小企業向け	1回	3回	33.3%
	支援担当者向け	1回	6回	16.7%
広島校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	6回	16.7%
直方校	中小企業向け	0回	2回	0.0%
	支援担当者向け	1回	5回	20.0%
人吉校	中小企業向け	0回	1回	0.0%
	支援担当者向け	1回	5回	20.0%
合計	中小企業向け	6回	20回	30.0%
	支援担当者向け	14回	93回	15.1%

3. 評価

要求水準指標について、すべての大学校で調査対象期間の実績値（経過値）は、三条校の「受講者の満足度」を除いて要求水準値を達成している。

三条校において「受講者の満足度」が未達成となった要因を分析したところ、オリエンテーション等で事務連絡が丁寧過ぎることで必要以上の時間を費やしたことが理由に挙げられている。このため、現在は連絡事項について機構と事前に打ち合わせを行い、必要事項を簡潔に短時間で対応するよう調整することとしている。

なお、要求水準指標のうち「研修の中断回数」については、実施要項上、要求水準値未達成の場合は、第4四半期の研修委託費からの減額規定があるが、調査対象期間においては要求水準値を達成しているため、減額となる事態は発生していない。

III 民間事業者からの提案による業務実施状況

研修の運営に当たり、開始前までの事務手続及び会場設営等の準備が確実に行われ、研修期間中の業務も機構担当者と密に連携して円滑に業務が行われており、民間事業者による創意工夫の主な内容は下記のとおりである。

- ・オリエンテーションのリハーサルの提案がなされ実行された。（旭川校）
- ・研修運営の進捗チェックリストを独自に作成している（瀬戸校及び広島校）
- ・研修期間中に受講者からの意見やセルフモニタリングの結果などにより研修内容の改善策を検討し機構に提案した。（関西校）

IV 研修業務の運営に要した経費

調査対象期間の実績は以下のとおりである。

なお、仙台校が従来経費と比較して研修委託費が増えている要因として、研修回数が増えていることが挙げられる。

(税込)

	従来経費（年間） ①	実績値（4～6月） ②	研修委託費（年間） ③	差額 ④=③-①	増減率 ③/①
旭川校	7,072,000円	1,496,250円	5,985,000円	△1,087,000円	△15.4%
仙台校	13,227,000円	3,360,000円	13,440,000円	213,000円	1.6%
三条校	6,285,000円	1,400,000円	5,602,800円	△682,200円	△10.9%
東京校	73,207,000円	18,249,000円	72,999,780円	△207,220円	△0.3%
瀬戸校	11,111,000円	1,644,489円	6,577,956円	△4,533,044円	△40.8%
関西校	16,262,000円	2,624,750円	10,499,000円	△5,763,000円	△35.4%
広島校	9,789,000円	1,548,750円	6,195,000円	△3,594,000円	△36.7%
直方校	9,867,000円	1,443,750円	5,775,000円	△4,092,000円	△41.5%
人吉校	9,504,000円	1,443,750円	5,775,000円	△3,729,000円	△39.2%
合計	156,324,000円	33,210,739円	132,849,536円	△23,474,464円	△15.0%

V 全体的な評価

要求水準値は、①受講者の満足度、②講師の満足度、③作業遅延の件数、④研修の中断回数の4指標において、三条校を除く8校で要求水準値を達成した。三条校では、①受講者の満足度の1指標において要求水準値を下回ったものの、要因を分析し、既に対策を取っている。

モニタリングの結果から、実施体制では、研修や中小企業支援の経験者が配置されている大学校もあり、概ねそうしたところでは、きめ細かで丁寧な対応や積極的な取組が実行されている。

研修運営の実施状況に関しては、機構から手交した研修運営マニュアルや機構からの助言を受けながら、適切に対応されており、一部の大学校では、対象業務の改善に向けた積極的な取組や創意工夫が見受けられるところもある。

一方、関係者等の意見には概ね好意的な意見が多いものの、一部の大学校において、業務が不慣れであることや研修内容が理解不足であることから生じたものと推察される苦言もある。これは、調査対象期間が限られていることにも起因しているため、今後、民間事

業者の努力と機構の適時適切な助言により、改善されるものと判断できる。

以上のことから、本事業については、9校共に概ね円滑に業務を実施していると評価できる。

なお、次回の民間競争入札となる第三期中期計画（平成26年度開始）においては、民間競争入札により別に民間委託している「中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務」と一括して調達することにより、委託業務内容の効率化が可能となることから、応札者の増加が期待できる。

以上